

総合診療専門研修プログラム

ALL MIYAZAKIでつくる
地域医療を支える医療人のためのプログラム

募集定員 **6名**
研修期間 **3年**

連携施設名等

ALL MIYAZAKIプログラム

総合診療 18ヶ月 + 内科 12ヶ月 + 小児科 3ヶ月 + 救急科 3ヶ月

1 都農町国民健康保険病院 (総合診療、小児)

幅広い疾患、在宅医療 / 緩和ケア、内視鏡
学生教育 / まちづくり・地域保健

2 古賀総合病院 (総合診療)

3 宮崎生協病院 (総合診療、小児)

4 県立宮崎病院 (内科、救急、小児)

多疾患併存の病棟管理 / 診断困難症例の外来
内科専科トレーニング

以下も選択可能

- 5 宮崎大学附属病院 (救急)
- 6 県立延岡病院 (救急、総診、小児科)
- 7 都城市医師会病院 (救急)
- 8 高千穂町国保病院 (小児、総診、内科)
- 9 県立日南病院 (内科、総診)
- 10 宮崎市立田野病院 (総診)
- 11 小林市立病院 (総診)
- 12 美郷町国保西郷病院 (総診)
- 13 椎葉村国保病院 (総診)
- 14 おおつか生協クリニック (総診)
- 15 和知川原生協クリニック (総診)
- 16 このはな生協クリニック (総診)
- 17 串間市民病院 (総診)
- 18 西米良診療所 (総診)
- 19 ホームクリニックみまた (総診)
- 20 緑・在宅クリニック (総診)

他 福岡2ヶ所 鹿児島3ヶ所
※なお、県外研修に際しては個別相談に応じます。



責任者からのメッセージ

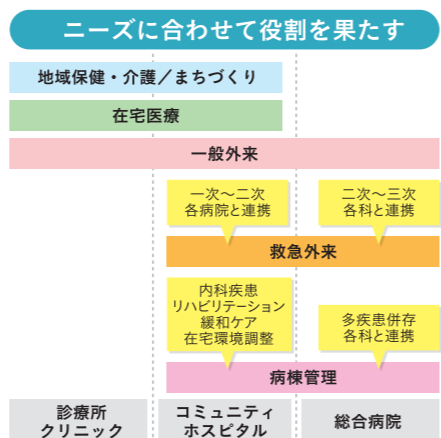


地域包括ケア・
総合診療医学講座
教授 吉村 学

地域で暮らす人々にとって役に立つ医師として活躍してみませんか。幅広く深い臨床能力と心優しいマインドを備え、そして様々な人々とコラボ、地域に暮らす人々の生活を支え、よりよい街づくりにも貢献できる専門医、それは総合診療医、家庭医とも呼ばれます。日本では出来たての専門医ですが、知識・技能・態度それぞれに領域別専門医とは違った専門性を持ち、世界ではこうした医師こそヘルスケアの基盤を担っている重要な存在です。オール宮崎で育てています。新しいからこそ、ワクワクする道が待っています。ぜひ飛び込んでください。全力で応援します！

プログラムの特徴

2021年度よりALL MIYAZAKI体制として宮崎県内の総合診療医が揃い、年々バージョンアップした指導体制でプログラム運営しています。2020年4月に都農町寄附講座の設置された都農町/都農町国民健康保険病院が基幹施設となり、大病院での病院総合医(ホスピタリスト)と中小病院での家庭医療(家庭医)という総合診療の2軸をしっかりと学ぶことができます。県内の総合診療に力を入れている病院等と連携しながら、県央地区での研修も強化し研修先の選択肢の幅が広がりました。Web会議を利用した勉強会や四季セミナー、教育コンテンツの増強もはかり、総合診療ならではの専門性を身につけていきます。プログラム修了後も多彩なキャリアプランを用意しています。また県北部の拠点である県立延岡病院および緑・在宅クリニックとも連携を強化し、へき地医療での学びもよりパワーアップしていきます。



取得可能な専門医資格および技能

- 総合診療専門医
- 在宅医療専門医(準備中)
- 新・家庭医療専門医
- 病院総合診療医

- 1 外来、救急、病棟、在宅という多様な診療の場において、全人的、包括的かつ継続的に医療を展開できる能力
- 2 患者中心の医療面接から、患者を取り巻く家族、地域社会、文化などを理解するコミュニケーション能力
- 3 地域のニーズに沿って、必要な医療技術を習得できる能力
- 4 限られた人材、医療資源を用いて、適切な医療をスタッフと協同で行うリーダーシップ能力



キャリアや希望に合わせて調整可能な3年間

専門医取得までのタイムスケジュール・研修行事

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科 県立宮崎病院											
2年目	総合診療Ⅰ 都農町国民健康保険病院											
3年目	総合診療Ⅱ 古賀総合病院						救急 県立宮崎病院			小児 宮崎生協病院		

プログラム達成目標

患者の縦断的、横断的なマネジメントおよび、医療、介護、福祉との連携を実践することができ、研修終了時には地域包括ケアを実践する能力が習得できます。

- 日常に多く遭遇する疾病や傷害に対する初期対応能力を習得する
- 地域で対応が求められる各診療科のコモンディーズには、専門医へのコンサルトの見極めを含め対応できるようになる
- 地域で生活する患者の情報を、多職種で共有して解決するスキルを習得する
- 患者の診断や治療まで積極的にいき、かつ患者の生活背景を考えた退院後のマネジメントができるようになる
- より複雑な症例や患者の問題点を多職種連携で共有し、解決できるようになる

主要症例名と実績数

都農町国民健康保険病院総合診療科

入院症例数5-10名程度、外来は半日10-20名前後(新患含む)、在宅患者数名を担当しながら、入院・外来・救急・在宅と多様な診療の場での診療を行います。コモンディーズ、多疾患合併症例、下降期慢性疾患の対応、複雑困難事例、緩和ケア・終末期など多彩な症例を経験、総合診療科のコアスキルを研鑽しながら修得します。他にも小児・思春期から高齢者まで、リハビリテーションやメンタルヘルス、予防医学など多岐にわたる分野を、他の領域別専門医や多職種などと連携しながら経験できます。

プログラム紹介動画を作成しました。
詳しくはこちら



指導医からのメッセージ



早川 学

私は“最強の総合診療医”になることを目指しています！私の中で“最強”とは、診療所・在宅医療～総合病院までどんな規模の医療機関でも働く能力を有し、医学生～初期研修医・専攻医のどんな学年にも適切な指導が可能で、学会発表や論文執筆もきちんと行い、その指導もできる医師をイメージしています。もちろん私自身もまだまだ“最強”への道のりは遠いのですが、我々はそのような医師になることが可能となる、素晴らしいプログラムを用意しています。ぜひ一緒に“最強の総合診療医”を目指しませんか？ お待ちしています！

先輩からのメッセージ



梶田 一旭

『患者さんの力になりたい』医師を志す者であれば共通する想いを、臓器によらず、年齢によらず、働く場所によらず、発揮したいと思う方に適切な専攻医研修だと思えます。プライマリ・ケア、病む人が最初に医療の門戸をたたく最前線で、common diseaseや救急医療において適切な医療を提供する事、場合によっては専門科への適切な道筋をたてる事、また、治療のみならず予防医療を行う事、医療以外の介護や福祉、社会的な問題が絡んだコンプレックスケースにも多職種と連携して解決策を探る事。将来どの様な道を志そうとも医師として基礎・コアとなるスキルを習得することができると充実した3年間でした。



枝元 真人

専攻医1年目は串間市民病院で救急外来・一般外来・急性期病棟管理・在宅医療と幅広く携わることができました。救急外来で出会った患者さんを病棟で入院管理し、自分の外来で付き合っていたり、在宅で看取ったりと、一人一人の患者さんにとことん付き合っていく楽しさがあります。また、院内の勉強会を開いたり、地域の座談会に足を向けたりと、「患者・病院・地域をより良くするために、やろうと思ったことは何でも自分の仕事にできる」土壌があり、それを支えてくれる指導医がいる恵まれた環境です。1つの診療科にこだわらず、患者さんや地域を丸ごと支えてみたいという方にお勧めできるプログラムになっています。

ぜひこの分野のパイオニアに！熱いです。熱い地域医療と一緒に燃えてやろう。

お問い合わせ先

担当：吉村 学

T E L : 0985-85-9809

F A X : 0985-85-9805

e-mail : chiikiryo@med.miyazaki-u.ac.jp

総合診療科 HP

https://chiikiryo-miyazaki.jp/

